

『B型肝炎、C型肝炎と肝がん』

～～ウイルス陽性と分かったら、必ず肝がんの有無をチェック！～～



まず一句 『(ウイルス)陽性者 肝がんチェックを はようせい』

(早くしろ・・・はようせい・・・陽性・・・ウイルス陽性・・・)

肝臓は言わずと知れた『沈黙の臓器』

知らないうちに慢性肝炎⇒⇒肝硬変⇒⇒肝がんと進展します。

原因の90%以上がB型肝炎またはC型肝炎です。

日本人の場合、肝がんになる危険度は正常人と比べ

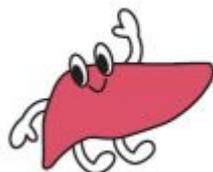
《慢性肝炎》 B型 50倍、C型 100倍

《肝硬変》 B型 200倍、C型 400倍

この倍率の高さから考えるとB型・C型肝炎の患者さんをみたら、
肝がんが出来ると考えなければなりません。

血液検査の感染症チェックで、HBs抗原陽性やHCV抗体陽性と分かったら、
肝がんの発生を早期発見するために必ず定期的に血液検査や画像検査（エコーかCT）を
ズ～～ッとチェックする必要があります。

ウイルス陽性ですと若い人でも肝がんが肝臓全体に広がり手術不能になって
いるという事が今でも見うけられます。



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

B型・C型肝炎ウイルス陽性者を見たら、最初から肝がん合併の可能性を考えて下さい。
肝がんも早期発見早期治療により患者さんを助ける事が可能です。

(文 : 福井県肝疾患診療連携拠点病院協議会 野ッ俣 和夫)